

平成 28 年度 三重大学教育満足度調査 報告書（概要版）

第 I 部 学部生対象

1. 調査目的 三重大学の中期目標を達成するための措置として、平成 28 年度終了時の学生の満足度の実態を把握し、今後の三重大学の教育改善に資するための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査概要

- (1) 調査対象 三重大学に在籍する全ての学部生 6,083 名
- (2) 調査時期 平成 28 年 12 月～平成 29 年 1 月
- (3) 調査方法 質問紙調査と三重大学ウェブ調査システムによる調査の 2 種類の方法のうち、学生がどちらか一方を選択して回答した。
- (4) 分析対象者 回収したデータのなかから、所属が不明な学生と在籍年数が 5 年目以上の学生（医学科は 7 年目以上の学生）を除いた有効回答者数 1,735 名（28.5%）を分析対象者とした。

表1.2.1 分析対象者数

	人文		教育				医		工					生物資源			合計		
	文化学科	法律経済学科	学校教育教員養成課程	情報教育課程	生涯教育課程	人間発達科学課程	医学科	看護学科	機械工学科	電気電子工学科	分子素材工学科	建築学科	情報工学科	物理工学科	資源循環学科	共生環境学科		生物圏生命科学科	
在籍年数	1年目	37	17	88	1	0	0	15	14	12	83	20	37	5	39	7	67	11	453
	2年目	42	28	51	3	0	10	17	59	13	26	55	13	6	7	19	11	40	400
	3年目	35	68	35	1	0	5	9	28	4	14	9	28	32	8	41	37	45	399
	4年目	22	19	34	7	6	8	3	40	36	17	65	17	30	29	44	46	49	472
	5年目	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
	6年目	—	—	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
小計 (学部ごと)	136	132	208	12	6	23	55	141	65	140	149	95	73	83	111	161	145	1,735	
	268		249				196		605					417					

3. 結果

三重大学の教育に関する 46 項目について、平均値と満足群を算出した。

- (1) 平均値 満足の程度を表す 6 段階評定において、「非常に不満」を 1 点、「不満」を 2 点、「やや不満」を 3 点、「やや満足」を 4 点、「満足」を 5 点、「非常に満足」を 6 点とし、平均値を算出した。平均値が高いほど、満足度が高いことを表す。各項目に対して学生が経験したことがない場合や知らない場合のために、6 段階とは別に「回答できない」という選択肢を設けた。「回答できない」を選択した学生データは、欠損値（無回答）と同様に扱った。
- (2) 満足群 6 段階評定のうち、「やや満足」もしくは、「満足」、「非常に満足」のいずれかに回答した学生の割合を満足群とした。

3.1 大学全般についての満足度（次ページ 図 1）

「②三重大学の研究水準について」は、前年度と同様に、平均値・満足群ともに高く、満足度が非常に高かった。「①三重大学の教育全般について」と「④事務職員の窓口での学生対応」については、80%以上の学生が満足しており、満足度が非常に高かった。他方、「③学生の意向（授業評価など）が授業に反映されるなど三重大学の教育を改善しようとする大学の姿勢」については、他の項目と比較すると、満足を示す学生の割合が若干小さかった。

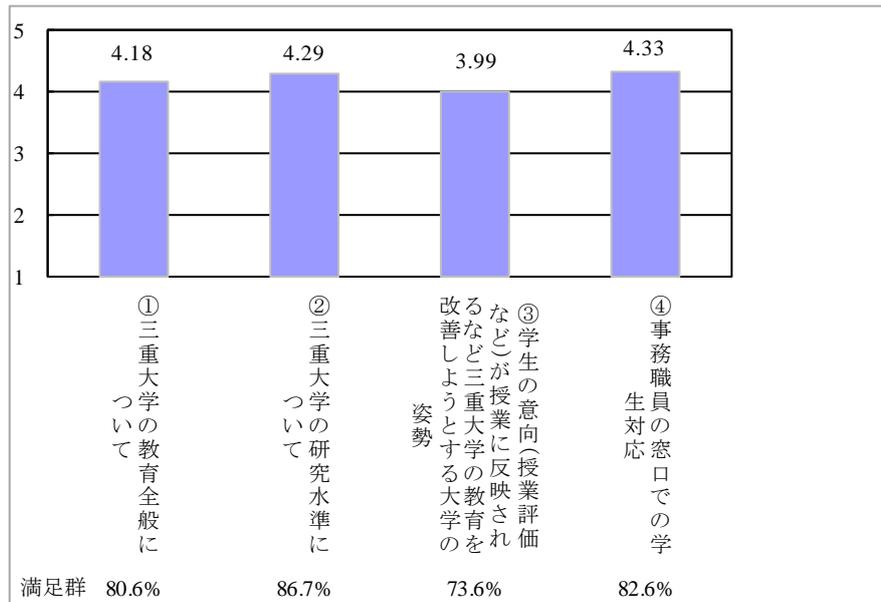


図1 平成28年度 大学全般についての満足度（学部生）

3.2 学外との連携についての満足度（図2）

「⑤留学支援や国際交流」と「⑥現場体験実習やインターンシップなどの機会」の両項目とも平均値が高く、約86%の学生が学外との連携に対して満足していることが示された。

3.3 情報提供についての満足度（図3）

「⑦休講状況を迅速に学生に伝達するシステム」については、満足を示す学生の割合は小さかった。

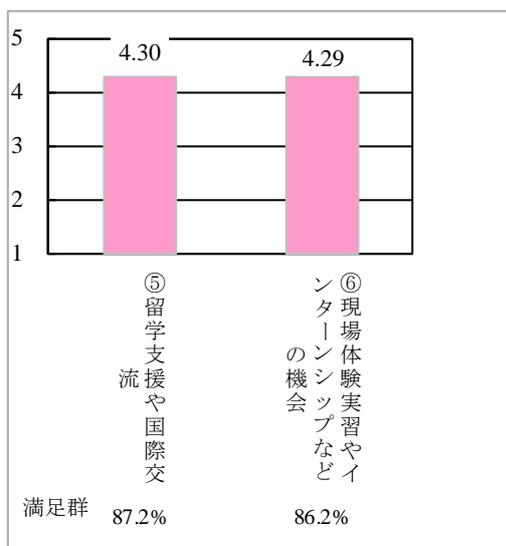


図2 平成28年度 学外との連携についての満足度（学部生）

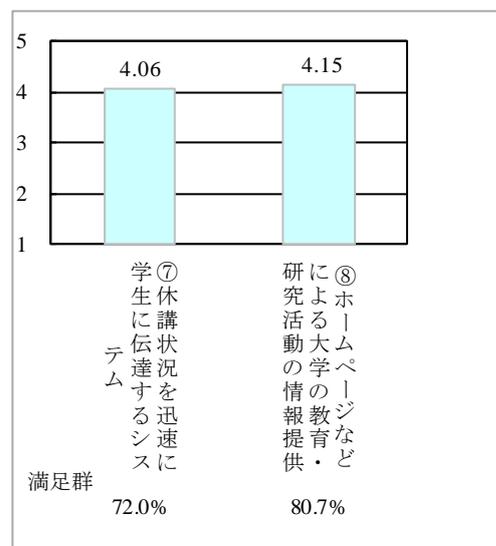


図3 平成28年度 情報提供についての満足度（学部生）

3.4 学習環境と施設・設備についての満足度

満足度が非常に高い項目が多かった。学習環境や施設・設備について、多くの学生が満足していることが示された。一方、「⑬駐輪場の設置場所や設置数」は、全項目中で満足度が最も低かった。

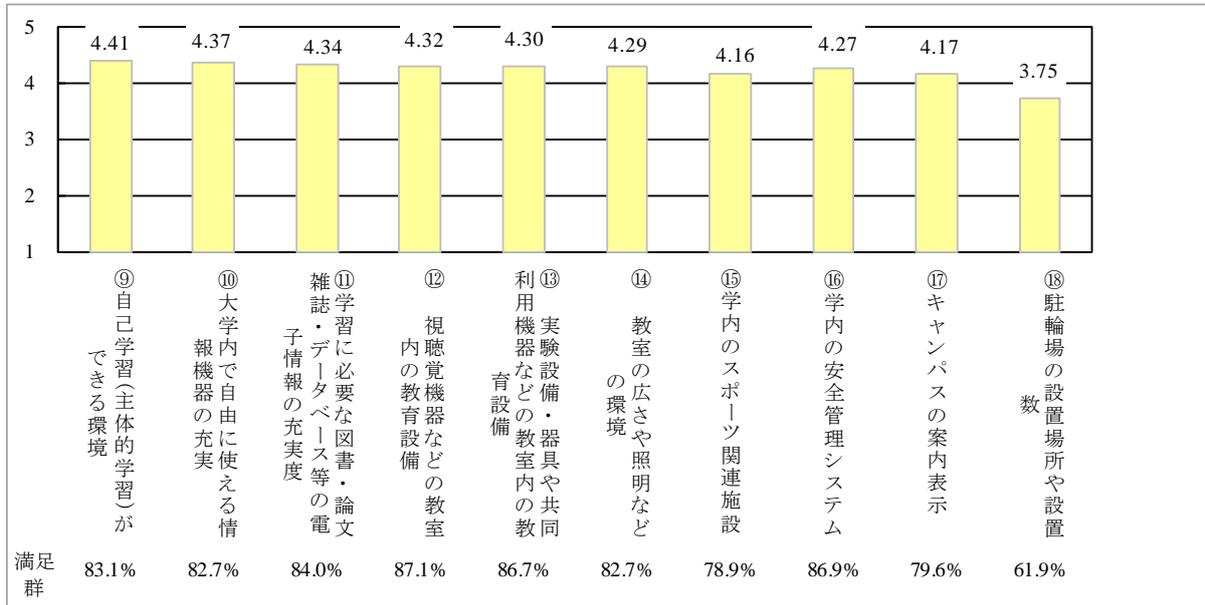


図4 平成28年度 学習環境と施設・設備についての満足度 (学部生)

3.5 評価・カリキュラムについての満足度

他のカテゴリと比べると全体的に満足度がやや低かった。

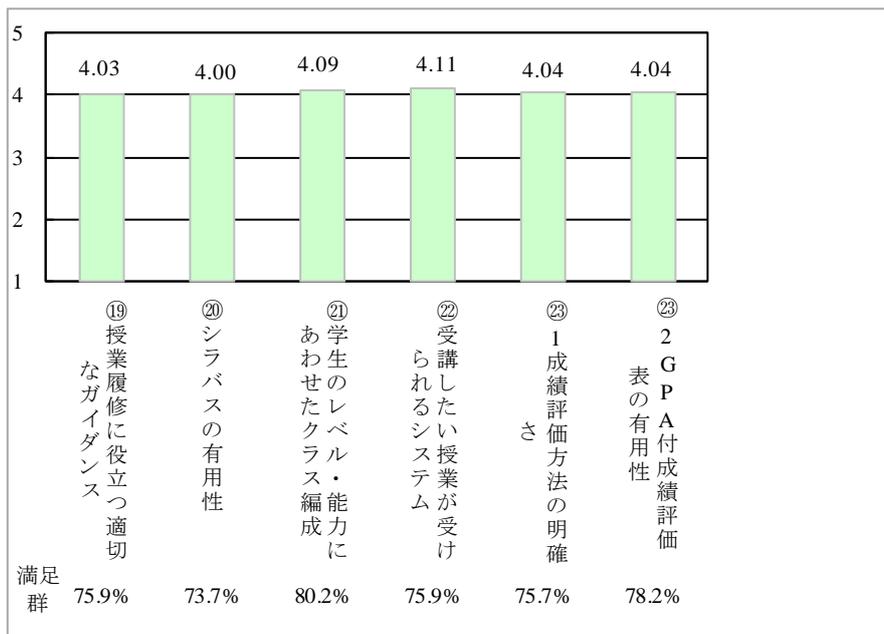


図5 平成28年度 評価・カリキュラムについての満足度 (学部生)

3.6 進路支援についての満足度

「②⑥資格や免許を取得することに対する大学の支援」や「②⑧大学院進学に役立つ教育の提供」などの項目の満足度がやや低く、他のカテゴリと比べると全体的に満足度がやや低かった。

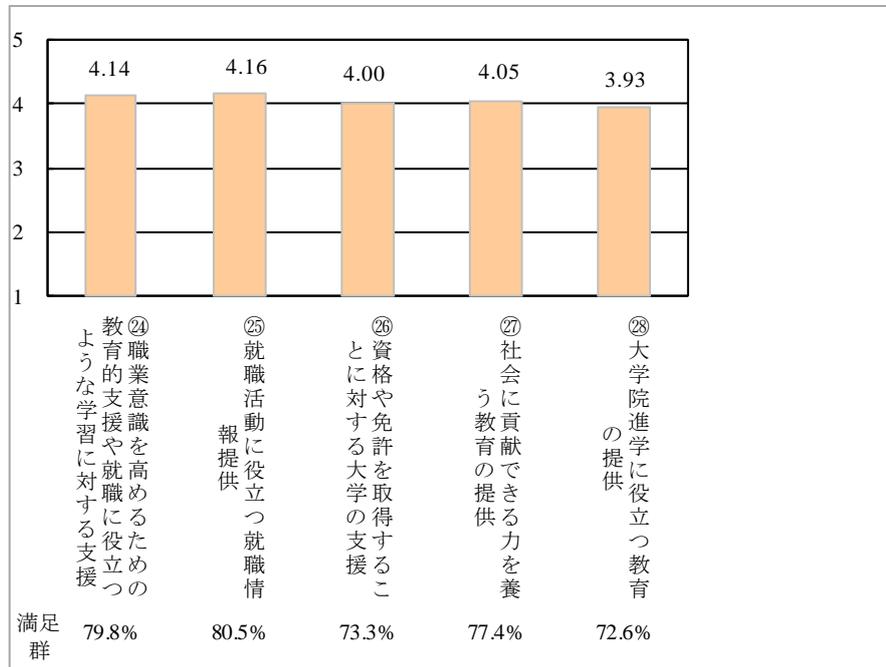


図6 平成28年度 進路支援についての満足度（学部生）

3.7 学生サポートについての満足度

カテゴリ内では、「③①教員による個別の学習支援や生活支援」や「③②ボランティア、課外活動などの社会活動に対する大学の支援」などの項目の満足度が高かった。

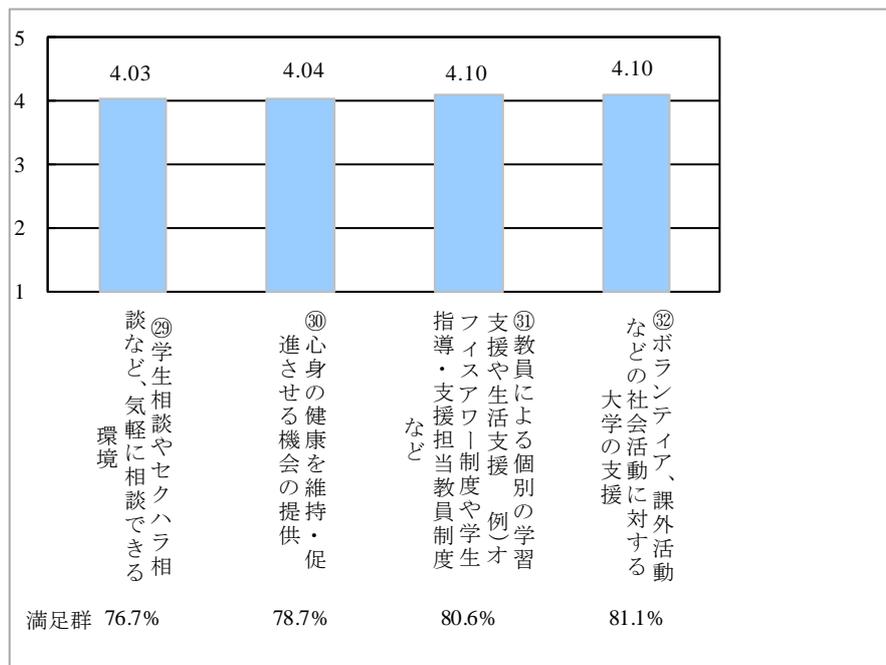


図7 平成28年度 学生サポートについての満足度（学部生）

3.8 授業についての満足度

満足度の高い項目が多かった。特に、「③③教養教育/共通教育の授業」や「③④学部専門の授業」「③⑦保健体育に関連した授業」「③⑨教養教育/共通教育のカリキュラム（教育課程）」「④⑩自分の所属する学部（学科等）のカリキュラム（教育課程）」「④②実習をともなう授業」「④③教員の教育に対する熱意・信念」「④⑤卒業研究指導」などの平均値は高く、満足している学生の割合は80%以上であった。このことから、様々な種類の授業に対して非常に多くの学生が満足していることが示された。

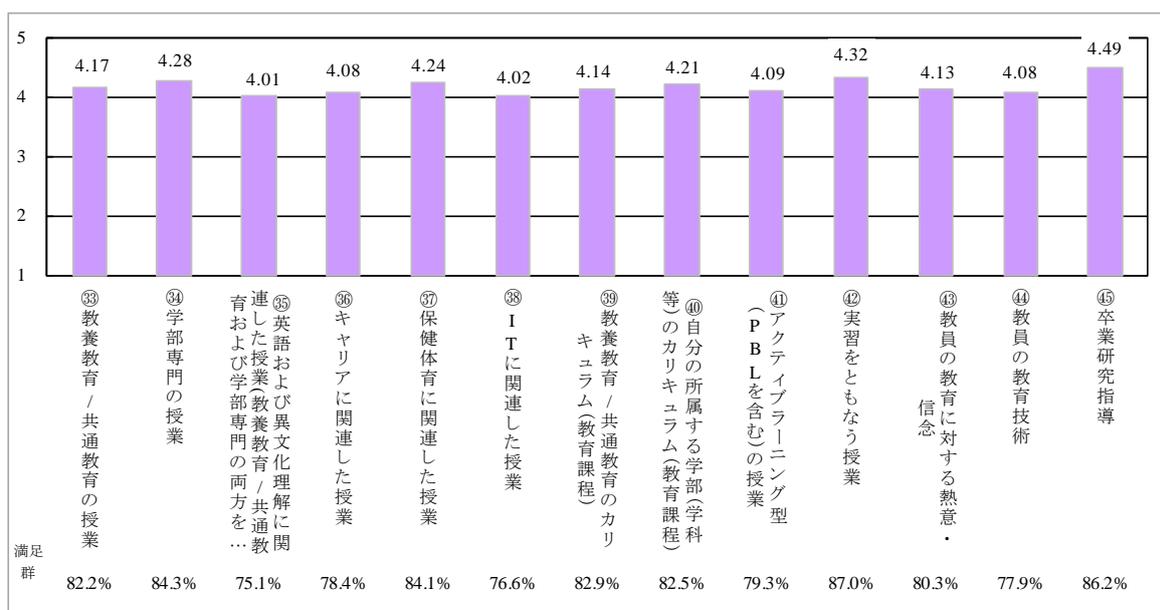


図8 平成28年度 授業についての満足度 (学部生)

第Ⅱ部 大学院生対象

1. 調査目的（p1を参照）

2. 調査概要

- (1) 調査対象 三重大学大学院に在籍する全ての大学院生 1,169名
- (2) 調査時期 平成28年12月～平成29年1月
- (3) 調査方法 質問紙調査と三重大学ウェブ調査システムによる調査の2種類の方法のうち、学生がどちらか一方を選択して回答した。
- (4) 分析対象者 回収したデータのなかから、修士/博士前期課程の在籍年数が3年目以上の学生と博士/博士後期課程の在籍年数が4年目以上の学生を除いた有効回答者数 508名（43.5%）を分析対象者とした。

表1.2.1 分析対象者数

	人文学 社会科学	教育学	医学系	工学	生物資源学	地域 シイ 学	合計
修士/博士前期	10	28	18	259	118	18	451
博士/博士後期	-	-	27	17	12	1	57
合計	10	28	45	276	130	19	508

3. 結果

三重大学大学院の教育に関する23項目について平均値と満足群を算出した。（算出方法はp1を参照）。

3.1 大学全般についての満足度

修士/博士前期課程 カテゴリ内では「③学生の意向が教育に反映されるなど、三重大学大学院の教育を改善しようとする大学の姿勢」と「④事務職員の窓口での学生対応」の満足度がやや低かった。

博士/博士後期課程 「①三重大学大学院の教育全般」「②三重大学大学院の研究水準」は、平均値が約4.4点（6段階評定で「やや満足」と「満足」の間にあたる）以上と非常に高く、85%以上の学生が満足していることが示された。

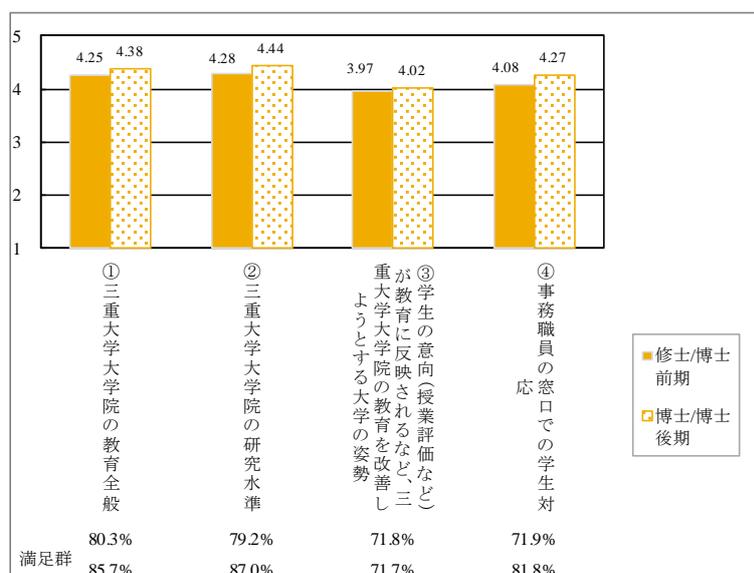


図9 平成28年度大学全般についての満足度（研究科学生）

3.2 大学院の教育についての満足度

修士/博士前期課程 「⑧最先端の研究や高度専門知識の教授」や「⑩日常的な研究指導」、「⑪学位論文指導」の平均値が約4.5点（6段階評定で「やや満足」と「満足」の間にあたる）以上と非常に高く、3項目とも学生が非常に満足していることが示された。

博士/博士後期課程 全ての項目において満足度が非常に高かった。特に、「⑤大学院の授業科目構成」「⑦PBLなどの少人数課題探求型の授業」「⑧最先端の研究や高度専門知識の教授」や「⑨現場体験や現場実習」や「⑪学位論文指導」は、平均値が4.4点以上と非常に高く、85%以上の学生が満足していることが示された。

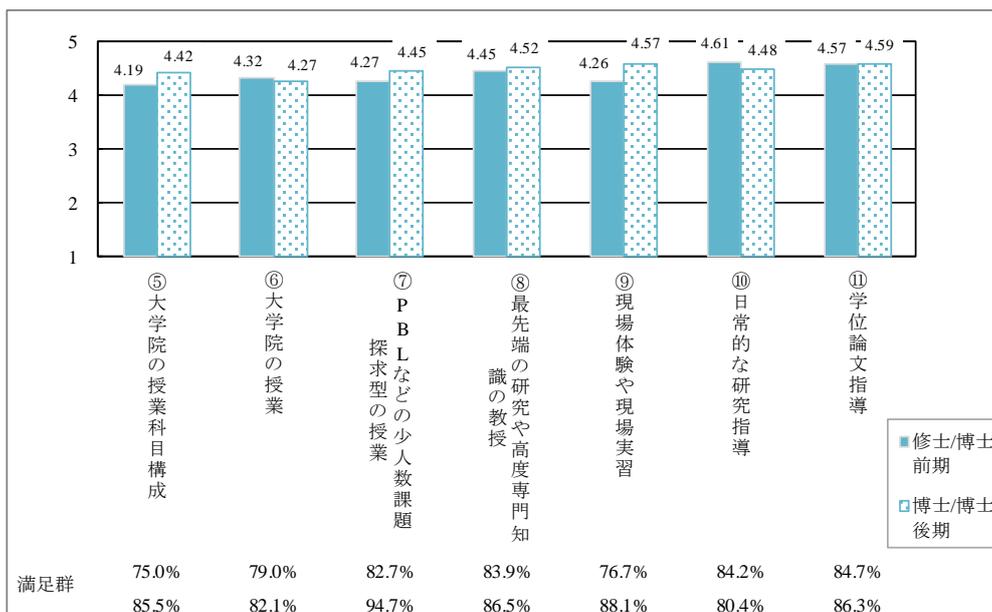


図10 平成28年度大学院の教育についての満足度（研究科学生）

3.3 研究環境についての満足度（次ページ図11）

修士/博士前期課程 「⑮研究室の人間関係」は、平均値が4.5点（6段階評定で「やや満足」と「満足」の間にあたる）以上と非常に高く、90%近くの学生が満足していることが示された。

博士/博士後期課程 カテゴリ内では「⑫研究を進めるための環境整備」「⑭研究に必要な電子情報（図書、論文雑誌、データベース等）の充実」の満足度がやや低かった。

3.4 学生サポートについての満足度（次ページ図12）

修士/博士前期課程 カテゴリ内で満足度が高い項目としては、「⑰就職に役立つ情報提供などの支援」が挙げられる。「⑱資格や免許を取得することに対する大学の支援」は、修士/博士前期課程の全項目中で平均値が3点台と低かった。

博士/博士後期課程 満足度の高い項目はそれほど見られなかった。特に、「⑱博士課程への進学に役立つ情報提供」については、博士/博士前期課程の全項目中で平均値が3点台と低かった。

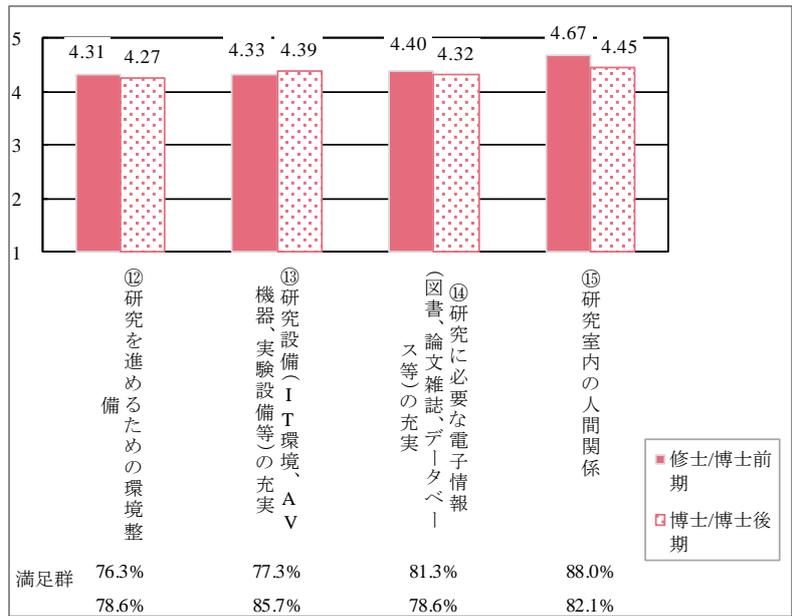


図11 平成28年度研究環境についての満足度（研究科学生）

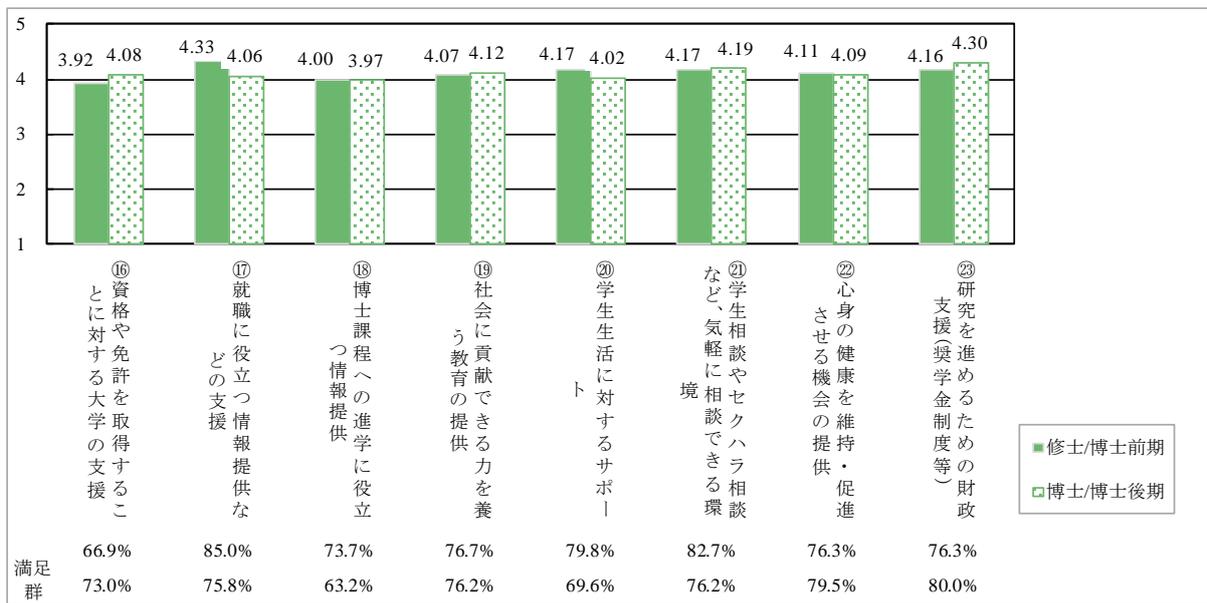


図12 平成28年度学生サポートについての満足度（研究科学生）